



THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU-YAMANAMI

やまなみ通信

●甲府やまなみクラブ会長主題：継続は力なり

～困難があってもバランスを保ちながら進み続けましょう～ 松本 公夫

●あずさ部長 主題：親睦とCS活動を部の原動力として外へ飛び出そう!! 大和田浩二(松本)

●東日本区理事主題：挑戦無くして進化なし 山下 真(十勝)

●アジア太平洋地域会長主題：アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる ラチャン・マニカーン(タイ)

●国際会長主題：ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク
(ノルウェー)

甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2026年10月
No.49

●今月の強調目標

ASF

●今月のことば

「人間万事塞翁が馬」

淮南子・人間君(中国の思想書)より

遠藤 恭範 君 選

今月の例会案内(第49回)

●日時：2026年10月3日(土)18:00～20:00

●会場：魚そう北口分店

●会費：4,000円

- ・開会点鐘 松本 公夫 会長
- ・ゲスト、ビジター紹介 司会者
- ・会長あいさつ 松本 公夫 会長
- ・今月のことば 遠藤 恭範 君
- ・ワイズディナー(懇親)
- ・諸報告
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・閉会点鐘 松本 公夫 会長

9月のデータ

甲府クラブとの合同例会

会員数:12名 例会出席:9名 例会出席率:75%

甲府クラブ:メン8名、メネット:2名

ビジター:大和田浩二(あずさ部部長・松本)

ゲスト:土肥満(卓話講師)、永井愛子(山梨いのちの電話)、山梨YMCAスタッフ5名

ニコニコ:9,401円(熊本地震支援金へ)

ハッピーバースデー

メン 渡邊 隆 (10/28)

パートナー 藤原チョンラダー(10/8)

Photo
of
monthly



【9月2日(水) 甲府クラブとの合同例会(山梨YMCAにて)】

▼山梨Yの不登校への取り組みを知る▼

仙洞田 安宏

猛暑も峠を越えた9月2日(水)、甲府クラブとの合同例会が山梨YMCAで開催されました。前年度に引き続き、今年度も継続することになり、今回はやまなみの当番で実施しました。

やまなみ松本会長の開会点鐘、両クラブ会長の挨拶の後、部長公式訪問の大和田浩二あずさ部部長(松本)からもご挨拶いただきました。『いつかは長野にYMCAを』との大和田さんの熱い思いが伝わるとご挨拶でした。



【大和田浩二あずさ部部長】

いつもよりちょっと豪華な弁当のワイズディナーの後、山梨YMCA南西教室管理者及び教育心理研究所代表の土肥(どひ)満さんから「山梨YMCAの不登校問題への取り組み」と題した卓話をお聴きしました。不登校問題については、ワイズ国際協会のTOF献金から総額15,000スイスフラン(日本円で約250万円)が支給されることになり、3ヵ年計画で実施されることになりました。これまで、とちぎ、東京、茨城、そして山梨の各YMCAの不登校問題活動をサポートしています。そんな経緯から今回の卓話をお願いしました。

土肥さんは関西のご出身ですが、山梨の小中学校の教員-特に特別支援学級等-として携わってこられ、定年退職とともに山梨YMCAへ入職されました。現役時代の経験を活かし、子どもの「こころ」の問題に取り組むべく山梨YMCAでさまざまなプログラムを立ち上げています。卓話では、不登校の定義や現状、増加の背景等を説明され、山梨YMCAの取り組みを具体的に紹介されました。2021年6月に新規

開設した「放課後等サービス・きらきらプラス」、高校生の心のサポート「ココカラゼミ」、また山梨英和高校通信制との連携、さらに昨年4月から始まったフリースクール「わいわいクラブ」等、子どもを取り巻く諸課題に、YMCAの存在が必要である



【卓話講師・土肥満様】

ることを実感することが出来ました。この卓話部分には山梨YMCAのスタッフ5名も聴講しました。

その後の諸報告では、ゲスト出席された山梨いのちの電話の永井愛子さんからチャリティーコンサートの案内、田草川担当主事からYMCAバザー実行委員会のお知らせ等がありました。最後に甲府クラブ小倉会長の点鐘で閉会となりました。なお、ニコニコ献金は熊本地震への支援金としてYMCAへ捧げました。

出席者(敬称略):やまなみ:松本・米山・渡邊・大澤・和田・遠藤(恭範)・藤原・仙洞田・田草川、甲府:小倉恵一・渡辺徳之・標克明・田中克男・ピーター・マウントフォード・石川和弘・丹後佳代・中田純子、メネット:小倉香苗・標恭子、ビジター:大和田浩二、ゲスト:土肥満・永井愛子



▼9月例会ニコニコメッセージより▼

▼甲府・甲府やまなみの合同例会に出席させて頂き、土肥さんからの不登校問題への取り組みのお話を伺うことが出来感謝です。あずさ部の最古参と最新鋭のクラブの今後に期待大です! (大和田浩二)

▼第3回合同例会の企画を有難うございました。土肥先生、卓話有難うございました。これからもよろしくお願いもうしあげます。(小倉恵一)

▼山梨YMCAの不登校問題への取り組みの卓話をいただきました。内容は奥深く、難かしく簡単には解決できない問題でもあります。(松本公夫)

▼甲府・甲府やまなみワイズ例会で旧友と一緒にさせ

ていただき有難うございます。

(渡邊 隆)

▼「くらんく」で「プラスチックの海」というドキュメンタリー映画を上映しました。その内容に強く興味を示された環境活動をされているリーダーが他のメンバーにも観てもらいたいと、再上映を企画し多くの人に観て頂けました。地域を、海を、地球を守ると人々も守られるのではと感じます。そのお手伝いができた喜びを献金に捧げさせて頂きました。(和田幸士)

▼不登校問題には本人、家族だけの問題ではなく、周りの環境も大切ということが改めて良く分かりました。また、YMCAがこのことについて子どもが活躍できる場をつくれると良いと思いました。(田草川啓)



山梨 YMCA 総主事

中田 純子

「チャリティーバザー始動と秋の例会から」

秋の深まりとともに実りの季節を迎えました。

いよいよYMCA2大イベントの一つである「チャリティーバザー」が、11月3日「文化の日」の開催に向けて本格始動いたしました。本事業はワイズメンズクラブとの大切な協働事業であり、今年度は甲府21ワイズメンズクラブの佐藤重良ワイズメンに実行委員長をご就任いただき、地域社会へ貢献することを目的として準備を進めております。

今年は「地域」「感謝」「こども」「環境」という4つのキーワードを掲げました。地域貢献を第一に考え、この場所で事業活動を行わせていただける感謝の気持ちを示すとともに、子どもとご家族が心から楽しめる環境を整え、YMCAの活動へ繋げていく所存です。

こうした協働を支える原動力となっているのが、日頃の例会で培われる絆と対話です。それぞれの例会には、あずさ部の各クラブやDBCのワイズメンといった温かいゲストをお迎えし、素晴らしい出会いと交流が生まれております。毎年集う例会だからこそ「この日この時に再会できる」仲間がいることは大きな喜びであり、卓話者の方々による心沁みるお話も

また、私たちの心を豊かに満たしてくれています。

去る甲府・やまなみ合同例会では、YMCAの土肥スタッフが卓話者となり、国際TOF助成金事業である昨年度のフリースクール活動その他の報告、今年度の教育フォーラム実施に向けた方向性が共有されました。現場の歩みと今後の展望を分かち合い、YMCAの課題を自分たちの課題として背負ってくださるワイズの存在こそが協働の根幹であり、大変力強い励みとなっております。あわせてワイズメンの皆様とのユース活動支援についての対話を通じて、この歴史を次の世代へどのように継承し発展させていくか、未来予想図を描くための貴重なヒントもいただきました。

さらに、甲州勝沼ぶどうの丘での「ぶどう棚下例会」において旬の味覚や地の恵みを味わいながら育まれた和やかな親睦、富士五湖ワイズメンズクラブによる世界遺産・富士山五合目の佐藤小屋での「富士山例会」は、ボランティア精神の原点に立ち返るきっかけとなりました。各地で深められたワイズメンとの絆は、YMCAを支え続けていただく基盤です。

これまで紡いできた歩みと絆を力に、11月3日のバザーをはじめ、これからもそれぞれの地域で愛を届け世界に広げよう「幸せの輪〇」を。

埋め草通信

還ってきた読書会

仙洞田 安宏

1970年から続いている小さな読書会があります。連雀にあった山梨YMCA旧館の一室を会場に始まりました。その後、何度か会場が変わり、2002年頃からは市内の喫茶店の一室を借りて続けてきました。私は1984年から、この読書会の一員になっています。

この春、その喫茶店が閉店することになり、新しい会場を探すことになりました。そこで思いついたのが、YMCA本館の北にある「みずがきの家」です。1階の史料展示室の半分には、ちょっとした集会に利用できるスペースがあります。現在の読書会のメンバー5人には丁度良い空間です(下写真)。



この史料展示室に関しては、「史料展示室運営委員会」があり、私もその一員になっています。委員会ではそ

の活用を模索していたところなので、「渡りに船」と思い早速YMCAに打診し、承諾を得ました。

YMCAで始めた読書会が場所は違えどYMCAに還ってきた訳で、当初からのメンバーには感慨深いものがあるのではないかと思います。

史料展示室には、YMCA関係のものは勿論、ワイズメンズクラブの史料も保管されています。特に、「ハイY(高校YMCA)」に関するものは、他のYMCAからも注目されるほどの充実したものとなっています。申し込みすれば、誰でも利用できますので活用してください。

蛇足ですが3年前、「小さな読書会50年の歩み」という小冊子を作製しました(右写真)。読書会は今年で56年になりますが、4年後の60年には還暦ということで会場も還ってきてメダシ、メダシです。

